

2025 年「WHO 世界ノータバコデー」テーマ

Unmasking the Appeal: Exposing Industry Tactics on Tobacco and Nicotine Products

WHO は、今年の「世界ノータバコデー」(WNTD)のテーマを発表しました。

今年のキャンペーンは、タバコおよびニコチン業界が有害な製品を魅力的に見せるために使用している戦術を明らかにすることに焦点を当てます。

■なぜこのテーマなのか？

今日の公衆衛生上の主要な課題の 1 つは、タバコ、ニコチン、および関連製品の魅力、特に若い視聴者にとっての魅力です。業界は一貫して、これらの製品を魅力的にする方法を見つけようとしており、香り、味、外観を変えるフレーバーやその他の薬剤を追加しています。これらの添加物は、タバコの辛さを隠すように設計されており、それによって、特に若者の間でその嗜好性を高めます。その他の戦術は次のとおりです。

【グラマラスなマーケティング】洗練されたデザイン、魅力的なカラーやフレーバーは、デジタルメディアなどを通じて、若い層を引き付けるために戦略的に使用されています。

【欺瞞的なデザイン】一部の商品は、キャンディーや漫画のキャラクターなど、子供たちが自然に魅力的だと感じるアイテムを模倣しています。

【冷却材と添加剤】これらは喫煙経験をよりスムーズにし、継続して使用する可能性を高め、禁煙の可能性を減らすことができます。これらの戦術は、喫煙やニコチンの使用を早期に開始する一因となり、生涯にわたる依存症や健康への影響をもたらす可能性があります。これらの製品をより魅力的にすることで、業界は直接の消費者基盤を強化するだけでなく、禁煙をより困難にし、有害物質への曝露を長引かせます。

■2025 年の WNTD キャンペーン的目標

2025 年の WNTD キャンペーンは、以下の目標を掲げています。

【意識を高める】業界の戦術が、タバコやニコチン製品の外観と魅力をどのように操作しているかを一般の人々に知らせます。

【ポリシーの変更を提唱する】これらの製品をより魅力的にするフレーバーや添加物を禁止する措置。タバコの広告、宣伝、スポンサーシップの全面的な禁止。そして製品とそのパッケージのデザインを規制して、魅力を失わせます。

【需要の削減】これらの戦術を暴露することは、特に若者の需要を減らし、最終的にはニコチンやタバコ製品への曝露を減らすことを目的としています。

これらの戦略を明らかにすることで、キャンペーンは業界が依存症を売り込む方法に光を当て、需要削減の取り組みを推進し、長期的な公衆衛生を支援します。

このキャンペーンに参加して、意識を高め、より健康的でタバコのない未来を提唱してください。

【訳: 作田学 (日本禁煙学会理事)】

禁煙ジャーナル No. 370